

インターンシップ決定までの流れと書式

2018.2 JSCA インターンシップ部会

インターンシップにおいて、研修を希望する大学院生と受入れを行う設計組織の関係を整理すると以下のようになります。
(予定)

- | | |
|--|---|
| 1. 全体流れを理解して、参加申し込み(指導教員/大学院生)および受入れ(研修先)の準備を行う。
JSCA 書式 A、JSCA 書式【1】～【4】 | <u>/2月中/</u>
<u>/各大学に全体案内郵送3月5日(月)/</u> |
| 2. 研修受け入れ先の設計組織に、JSCA より受け入れ可能かの打診を行う。
JSCA 書式【3】の元となる書式による | <u>/発送 3月7日(水)/</u> |
| 3. 受入れ可能との回答を基に、研修受け入れ先リストを作成する。
JSCA 書式【3】(ホームページ掲載) | <u>/リスト作成 3月末/</u>
<u>/HP掲載 4月2日(月)/</u> |
| 4. 研修希望大学院生から研修先を決めて申し込みを行う。
(シラバスを添付し、大学側の意図を説明する)
JSCA 書式【4】(希望大学院生 → 指導教員 → JSCA → JSCA 取り纏め → 研修先) | <u>/一次締め切り 4月20日(金)/</u> |
| 5. 希望大学院生から選定して、受け入れ先が研修者を決定する。
(研修先 → JSCA → 指導教員 → 大学院生) | <u>/研修先からの回答 5月8日(火)/</u> |
| 6. 「可」の大学院生・・・受け入れ先と詳細打ち合わせ、面談
「辞退」の大学院生・・・理由を添えて、指導教員を通じて報告する。
「非」の大学院生・・・再度、4.の段階に戻り、研修申し込みを行う。 | <u>/一次の可否通知 5月17日(木)/</u>
<u>/二次申し込み 5月25日(金)以降/</u> |

以上の手順で研修受入れが決定した場合には、

- (1) 大学院と受け入れ先による覚え書、大学院生による誓約書、受け入れ先の研修計画書
JSCA 書式【6】【7】、JSCA 書式【5】
- (2) 大学院生による研修日誌
JSCA 書式【8】
- (3) 研修先による研修評価書
JSCA 書式【9】

等の作成が考えられます。この部分については、各大学と各受入れ設計組織により相談の上研修を実施するとともに、書類などは適宜作成して頂ければ良いと考えています。

(JSCA 書式は参考として示したものです。JSCA 書式・各大学の書式・受け入れ先書式のいずれかを採用してください。)

構造設計インターンシップの全体の流れとスケジュール

JSCA インターンシップ書式【2】

	大学院生	大 学 (研究指導教員)	JSCA インターンシップ部会	研修受入れ先 (JSCA 会員所属)
2 月			・研修受入の依頼(書式 B) →	・受入れ検討
3 月	インターンシップ 履修希望確認 ←	・大学院専攻長 (郵送) ← ・指導教員 (メール) ← ・インターンシップ実施決定 ←	・研修先紹介のお知らせ(書式 A) ・昨年度実施研究室(書式 A) AIJ の HP にお知らせ掲載 ・研修受入先リストの作成【3】 ←	↓ ↓ ↓ ・研修受入可否を回答【3】
4 月	研修先検討 ↓ 研修先希望 ↑	・研修希望大学院生を募集 (専攻長経由) ← ・研修希望大学院生の申込書【4】 + シラバス送付(指導教員経由) →	・Home Page 公開【3】 (書式【1】～【9】も公開) ・研修希望大学院生の申込書取纏め ↓	
5 月	↑ ↑ ↑ ↑ ↑ 否の大学院生：再申込み ←	・大学院生に可否通知 (指導教員経由) ←	・研修希望申込書の送付【4】 → ・選抜結果の報告の取纏め (Home Page 修正【3】) ↓ ・希望大学院生への可否通知 (指導教員経由) ←	・希望大学院生の選抜 ↓ ・選抜結果の報告
6 月	辞退の大学院生：辞退表明 →	・辞退の通知	・辞退の通知 →	・辞退受理
7 月	可の大学院生：研修先決定 ↓			・面談・事前打ち合わせ (研修計画【5】作成)
8 月 以降	研修開始 誓約書【7】 (実務研修日誌【8])	覚え書【6】、誓約書【7】 (大学と受入れ先)		↓ ・研修開始 (実務研修報告【9】)

注記) 募集の Home Page や大学への案内には、社名・業種・研修場所・研修期間・募集人数を載せ、電話番号等連絡先は公開しない。
研修開始後の書式【6】～【9】による業務は、大学と研修先の取り決めであり、JSCA は関与しない。